

令和5年度

福井大学病院卒後臨床研修

地域医療・地域保健・一般外来研修施設紹介



- 1.あわら病院
- 2.坂井市立三国病院
- 3.永平寺町立在宅訪問診療所
- 4.福井勝山総合病院
- 5.大滝病院
- 6.福井厚生病院
- 7.オレンジホームケアクリニック
- 17.福井県赤十字血液センター
- 8.池田町診療所
- 9.広瀬病院
- 10.織田病院
- 11.中村病院
- 12.池端病院
- 13.今庄診療所
- 14.和田診療所
- 15.若狭高浜病院
- 16.名田庄診療所
- 18.宮上病院
(鹿児島県 徳之島)

研修施設選択の留意事項

1. この冊子には、次年度地域医療、一般外来研修、地域保健の研修施設を紹介しています。研修先は皆さんの希望に基づいて決定しますが、希望者が集中する場合は希望どおりにならないことがあります。
2. この冊子に掲載のない施設については、ホームページなどを参考にしてください。
3. 学外研修中の身分や研修方法について、研修施設と「研修医出向に関する申し合せ」を締結しています。内容は次ページに掲載していますので、研修に際して留意願います。
4. 地域医療研修の際、在宅医療研修（1週間以上）を行うことが必須となります。
【在宅医療の1週間の数え方】
1週間＝5日間（＝5回）。
AM+PM（＝1日）行った場合でも、AMまたはPMのみ（＝0.5日）在宅医療を行った場合でも、1回とカウントします。

在宅医療が×となっている施設に行く場合、在宅医療研修をクリアするために追加で1ヶ月、在宅医療が○となっている施設に行く必要があります。
（院外研修は、計3ヶ月まで行くことが可能です。）
5. 一般外来研修は、当院の総合診療部でも研修可能。
院内外問わず、一般外来研修は計20日間分の研修実績が必要です。
研修月の平日が20日未満の場合、研修日数に不足が出てしまうので、注意が必要です。

※注意点

平日の勤務日数が18日を選んだ場合、不足した2日分を補うために別のブロックを追加する必要があります。

研修医出向に関する申し合わせ

H17. 2. 18研修管理委員会

福井大学病院と研修協力病院・施設（以下「受入病院等」という。）は、卒後臨床研修（以下「研修」という。）を協力して実施することを目的として、福井大学病院の研修医の出向について次のとおり申し合わせる。

- 1 この申し合わせは、研修医が福井大学病院に在籍のまま、短期間（3ヶ月以内）受入病院等において研修に従事する場合に適用する。
- 2 福井大学病院は、出向する研修医の氏名と出向期間について受入病院等と事前に協議する。
- 3 研修医は福井大学病院に在籍のまま、受入病院等の指揮命令に基づき、受入病院等において実施される研修に従事する。
- 4 研修医は、受入病院等において実施される研修の遂行に当たっては、受入病院等の研修指導医の指導、監督、助言等に従うものとする。
- 5 受入病院等は、研修医の研修の実施状況及び研修の評価について、研修期間終了後速やかに、福井大学病院に報告する。
- 6 研修医の労働時間、休憩時間、休日及び休暇等の労働条件については、特に定めるものを除き、受入病院等の就業規則を適用する。ただし、出向者の年次有給休暇の付与日数については、福井大学病院の就業規則を適用する。
- 7 受入病院等は、研修上必要なときに、研修医に対して時間外勤務及び休日勤務を命ずることができる。この場合の時間外勤務と休日勤務の合計時間は月30時間を超えないものとする。
- 8 受入病院等は、研修医に対して指導体制を確保した上で、当直勤務を命ずることができる。この場合の宿直は月4回、日直は月1回を超えないものとする。
- 9 受入病院等は、原則として毎月2日までに、前月の出向者の勤務状況を「勤務状況報告書」（別紙）により、福井大学病院に報告する。
- 10 研修医の賃金については、福井大学病院の基準に従って、福井大学病院が研修医に直接支給する。
- 11 研修医の健康保険、厚生年金保険、雇用保険及び労災保険（以下「社会保険等」という。）は、福井大学病院における被保険者資格を継続する。社会保険等の事業主負担分の支払いについては、福井大学病院が行う。
- 12 出向者に係る日常発生する研修上の経費は、受入病院等が負担する。
- 13 研修医が、受入病院等において医療過誤を生じさせた場合は、受入病院等、福井大学病院及び研修医が誠実に協議し、法令の定めるところにより、その損害を賠償するものとする。
- 14 この申し合わせに定めのない事項が生じたときは、福井大学病院と受入病院等が誠実に協議し解決する。
- 15 この申し合わせは、平成17年2月18日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

勤務状況報告書
(研修医出勤記録)

研修期間 年 月 日 ～ 月 日

研修施設 研修医

日	曜	出勤時刻		退出時刻		記 事（勤務内容など）
/	土	時	分	時	分	
/	日	時	分	時	分	
/	月	時	分	時	分	
/	火	時	分	時	分	
/	水	時	分	時	分	
/	木	時	分	時	分	
/	金	時	分	時	分	
/	土	時	分	時	分	
/	日	時	分	時	分	
/	月	時	分	時	分	
/	火	時	分	時	分	
/	水	時	分	時	分	
/	木	時	分	時	分	
/	金	時	分	時	分	
/	土	時	分	時	分	
/	日	時	分	時	分	
/	月	時	分	時	分	
/	火	時	分	時	分	
/	水	時	分	時	分	
/	木	時	分	時	分	
/	金	時	分	時	分	
/	土	時	分	時	分	
/	日	時	分	時	分	
/	月	時	分	時	分	
/	火	時	分	時	分	
/	水	時	分	時	分	
/	木	時	分	時	分	
/	金	時	分	時	分	

上記のとおり勤務したことを確認しました。

令和 年 月 日

指導医等 印

令和5年度地域医療、地域保健、一般外来研修施設

	科目	R5掲載の有無	施設名	住所	R4受入	一般外来 (4週以上)	在宅医療 (1週以上)	宿舍の有無	備考	
1	地域医療	一般外来	○	国立病院機構あわら病院	あわら市北湯238-1	○	△	○	○	一般外来は、0.5(AM)×5回(月～金)=合計2.5日/週です。
2	地域医療	一般外来	○	坂井市立三国病院	坂井市三国町中央1-2-34	○	△	×	×	一般外来は、0.5(AM)×5回(月～金)=合計2.5日/週です。
3	地域医療	一般外来	○	永平寺町立在宅訪問診療所	吉田郡永平寺町松岡兼定島38-45	○	△	○	×	一般外来は、0.5日(AM)×5回(月～金)=合計2.5日/週です。
4	地域医療	一般外来	○	福井勝山総合病院	勝山市長山町2-6-21	○	△	○	○	一般外来は、0.5日×5回(月～金)=合計2.5日/週です。
5	地域医療	一般外来	○	穂仁会大滝病院	福井市日光1-2-1	○	△	○	×	一般内科は、0.5×1回=0.5日/週(4週で4回)です。(曜日未定) 小児科は、4週で1日程度(0.5×2回)です。(曜日未定)
6	地域医療	一般外来	○	福井厚生病院	福井市下六条町201	○	○	×	×	一般外来は1日×5回(月～金)=合計5.0日/週です。
7	地域医療		○	オレンジホームケアクリニック	福井市田原町1-3-5	○	×	○	×	-
8	地域医療	一般外来	○	池田町国民健康保険池田町診療所	今立郡池田町藪田5-3-1	×	△	○	×	一般外来研修は1日×4回(月火木金)+0.5(AM)×1回(水)=4.5/週の見込みです。 曜日変更などあり得る。
9	地域医療	一般外来	○	広瀬病院	鯖江市旭町1-2-8	○	△	×	×	一般外来は、0.5日(AM)×1回(水) + 1日×4回(月、火、木、金)=合計4.5日/週です。
10	地域医療	一般外来	○	越前町国民健康保険織田病院	丹生郡越前町織田106-44-1	○	○	○	○	一般外来は、1日×5回(月～金)=合計5.0日/週です。
11	地域医療	一般外来	○	中村病院	越前市天王町4-28	○	△	○	○	一般外来は、0.5日(AM)×2回(月・木)=合計1.0日/週の研修が可能です。
12	地域医療	一般外来	○	池端病院	越前市今宿町8-1	○	△	○	×	一般外来は、0.5日(AM)×5回(月～金)=合計2.5日/週
13	地域医療	一般外来	○	南越前町国民健康保険今庄診療所	南条郡南越前町今庄84-24-1	○	△	○	○	一般外来は、0.5日(AM)×1回(木)+1日×4回(月、火、水、金)=合計4.5日/週です。
14	地域医療	一般外来	○	高浜町国民健康保険和田診療所	大飯郡高浜町和田117-68	○	△	○	○	一般外来は、和田診療所では行えず、若狭高浜病院にて行うことになる。 (実施日数は若狭高浜と同じ)
15	地域医療	一般外来	○	若狭高浜病院	大飯郡高浜町宮崎87-14-2	○	△	○	○	0.5日(AM)×6～8回(曜日未定)=合計3-4日/月です。
16	地域医療	一般外来	○	おおい町国民健康保険名田庄診療所	大飯郡おおい町名田庄下6-1	○	△	○	○	一般外来は、0.5日(AM)×1回(木)+1日×4回(月、火、水、金)=合計4.5日/週です。
17	地域保健		○	福井県赤十字血液センター	福井市月見3-3-23	○	×	×	×	-
18	地域医療	一般外来	○	宮上病院	鹿児島県大島郡徳之島町亀津7268	○	△	○	○	一般外来は、0.5日(AM)×5回(月～金)=合計2.5日/週

【注意事項】

一般外来が○→1週間で5日間の研修が可能なので、平日が20日以上ある月を選択すれば、1ヶ月で一般外来を終えることが可能な施設。

一般外来が△→1週間で4日以下の研修となるので、1ヶ月で一般外来を終えることは不可な施設。複数施設を組み合わせ、2か月以上一般外来研修を行う必要がある。(地域医療との並行研修可。)

地域医療研修には、在宅医療研修を1週間含みます。この1週間とは、5日(＝5回)となり、AMまたはPMのみ在宅を行った場合でも1日(＝1回)とカウントします。

国立病院機構あわら病院の実習概要



1. 病院の概要

当院 172 床の中規模病院で「多くの人の笑顔のために」を病院の指針として、「障害児(者)」、「血液・免疫」、「長寿」を中心とした公益性・専門性の高い医療を地域に提供することに努めています。当院も皆さんの臨床医学研修を心から歓迎しています。

内科・小児科・検査部などが横断的に、また個々に実習できます。さらに個人の希望に合わせて実習を行うことが可能です。従って当院実習の際にはどんな実習を行いたいかを事前に考えてください。その希望に沿うよう実習を組みます。

ブログも随時更新していますので参考にしてください。

2. 病院データ

病院長名：見附 保彦

住所：福井県あわら市北潟 2 3 8 - 1

電話：0776(79)1211 FAX 0776-79-1249

URL：<http://www.awara-hosp.jp/>

3. 実習概要および受け入れ人数： 1 名/月

4. 診療科

内科 循環器内科 小児科 外科 皮膚科 眼科 整形外科 神経内科 血液・リウマチ科

5. 病床数

一般病床 172 床（重心病床 90 床、障害者病床 64 床、地域包括ケア病床 18 床）

福井県最北の地域医療に触れてみませんか？

実習内容について

プライマリケア

外来と病棟での実習が中心です。頻度の高い疾患について、指導医と一緒に考え学んでいきます。

小児科

一般の小児科外来、それに加えて重症心身障害児（者）の入院管理、この2つが当院の特徴です。重症心身障害者（障害児）の通園施設と病棟では、体験的なものが中心となります。その体験実習を通して、身体的な関わり、社会的な関わりを考察していきます。

専門領域

専門領域として膠原病・循環器・消化器・血液、感染症、総合診療科の専門医がおり、診療しています。常勤の専門医とのディスカッションを通して、その分野のより深い習得を目指すことができます。化学療法、生物学的薬剤の使用とともに緩和医療も並行しておこなっています。

当院は日本内科学会教育関連病院、日本プライマリケア学会研修施設、日本病院総合診療学会研修施設、日本リウマチ学会教育施設、日本血液学会血液研修施設、日本循環器学会研修関連施設の認定を受けています。

手技

ラボ室で実習人形を用いた末梢および中心静脈ルート確保の練習も可能です。またBLS及びACLS練習もラボ室で可能です。

訪問診療

地域医療の一環で訪問診療・訪問看護を行っています。自宅療養で疾患を管理するための問診や診察・治療の実習が可能です。自宅以外の高齢者施設への施設往診もあります。

座学

各分野に専門医の定期的なレクチャーを予定しています。さらに希望があれば個別の時間を設けることも可能です。国家試験問題集などの疑問点についても、随時質問を受け付けていきます。カンファレンスに加え、水曜日には内科ミニレクチャーを開催しています。診療の向上を目指し医師間のレクチャーを行っています。

4. 集合時間・場所

1) 実習初日 午前8時30分に病院管理棟2階医局前に集合してください。引き続きオリエンテーションを行います。

2) オリエンテーション以降は、各診療科の担当指導医の指示に従ってください。

5. 提出物

念書等共通書式

提出は、実習初日のオリエンテーション時にお願いします。

6. 研修上の注意

福井大学医学部にて定められた「研修上の注意」に従ってください。

院内は原則白衣着用。白衣の下は清潔な服装で。デニム不可です。

7. 医局事務机

Pubmed 等自由に閲覧可能なPCを机上に準備してあります。実習当日にご案内します。

8. 研修医担当

特に指定のない場合には、大槻血液内科医長、または見附院長まで連絡お願いいたします。

9. 図書室

医局、および6F実習室の書籍を利用ください。

10. 昼食

食堂はありません。売店はあります。医局に共用の冷蔵庫があるので持参したものを冷蔵することはできます。希望があれば検食を提供します。

11. 駐車場

あわら病院駐車場を利用してください（無料）。

12. 宿泊施設

宿泊施設は特別には設けていませんが、希望の方は事前にご相談ください。

坂井市立三国病院 施設紹介

病院長 飴 嶋 慎 吾

1. 概要

当院は福井県北部に位置し、県内で第2位の人口を有する坂井市の旧三国町に存在しており、とくに坂井平野の北部にある三国町、坂井町、お隣のあわら市など旧坂井郡（現、坂井地区）の北側半分とその周辺を主な医療圏としております。旧三国町立病院時代を含め100年以上の歴史があり、地域に密着した総合病院として地域医療の中心的役割を担っています。当院には、一般内科、消化器内科、血液内科、呼吸器内科、消化器外科、整形外科、眼科に加え、地域の子育て支援を担う産婦人科、小児科の常勤医が勤務しており、また非常勤として循環器内科、神経内科、腎臓内科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科といった診療科も開設しております。さらに腎透析センターを有し、日曜日以外は毎日稼働しております。また、坂井地区消防署とも連携し、救急患者を可能な限り受け入れるようにしており、地域の救急医療にも力を入れています。これら診療を支えるべく、最新の画像診断システムや自動化検査システムを備え、いつでも検査できる体制を整えてきています。一方、病棟は病床数105の小規模病院で混合病床として稼働しておりますが、平成29年7月より一部（43床）を地域包括ケア病床に変換し今後の地域高齢者医療のニーズに沿った体制を整えました。これにより主に高齢者の急性期から回復期への移行が行い易くなり、また超急性期大規模病院からの受け入れや、介護支援施設や在宅介護への移行もスムーズになってきています。同時に急性期から慢性期まで各リハビリテーションのニーズは高くなっており、リハビリテーション部の充実にも努めています。最近の取り組みとしては、ポリソムノグラフィー(PSG)を取り入れ、検査室との連携の下、睡眠時無呼吸症候群(SAS)をはじめとする睡眠障害の精密検査を開始しています。現在坂井地区で同検査が可能な施設はなく、潜在的SASを含め睡眠障害を有する患者は多く存在しており、その診断・治療を地域密着型で進めているところです。

2. 研修内容

当院は小規模病院ではありますが、救急医療から慢性期医療まで、また周産期・子育て支援から高齢者医療に至る診療を行っています。もちろんあらゆる疾患をカバーできるわけではなく、高度先進医療や高度診断技術が必要であれば超急性期大病院への紹介・搬送も必要となり、この判断力を養うことも重要になります。

さて、研修内容については基本的に研修医各位の将来を見据えた希望やニーズに合わせて

たカリキュラム（各診療科研修や検査研修の時間配分など）をそれぞれ相談の上組む予定です。その上で、地域の病院の役割を理解してもらうためのカリキュラムを同時に組み入れていきます。当院は地域の公的病院であり地域の様々な患者が受診する一方で、超急性期大病院と地域とを橋渡しする役割も担っています。具体的には、大病院からの亜急性期～慢性期患者の受け入れ、診療所や介護施設あるいは在宅からの救急患者の受け入れ、終末期患者の受け入れなど、一方、退院時には在宅医療・診療所通院への紹介、地域介護施設への紹介など、特に高齢者医療においては重要になります。これらの調整を行っている部署が地域医療連携部であり、この部署の仕事内容や苦勞を理解することは医師として重要になります。地域医療を理解するための必須カリキュラムは以下の通りです。

- 1) 地域医療連携室の仕事内容の理解と各種提出書類の記載方法の理解（情報提供、返書、介護認定、身体障害者認定ほか）
- 2) 外来初診患者（内科・整形外科・外科ほか）、救急患者の初期対応（検査・処置）
- 3) 急性期入院患者の診療（急性期リハビリテーションを含む）
- 4) 地域包括ケア病床の理解と同病床患者の退院調整
- 5) チーム医療（栄養、感染対策、リハビリ、緩和など）の理解と参加

3. 今後の地域医療について

2025 年問題を控え高齢者が著増する今後の医療のあり方において、超急性期病院と在宅介護の間を取り持つ地域の中小規模病院の役割はより重要と考えられます。超高齢化社会の直後から 2040 年代にかけて多死社会が確実に来襲してきます。このような社会状況において医療・介護の在り方は変革していかなばなりません。各医療・介護施設間の連携、在宅医療・在宅看護・在宅介護との連携など地域包括ケアの重要性は増すばかりです。当院ではすでに診療ネットを利用して、診療内容の一部開示が可能となっており、大規模病院や地域医療・介護施設とのネットを介した連携もできるようになっています。当院はこれら地域ネットワークの中心的役割を担うべく努力しているところですが、今後どの地域であっても（たとえ都会であっても）、診療科の垣根を越えて地域医療の屋台骨を支えていくのは、若い医師のみなさんであることは間違いありません。地域医療の実践を体験することは必ず将来の糧になると思います。



病院外観



地域医療連携室



診察室



外来ホール

初期研修医のみなさんへ



永平寺町立在宅訪問診療所 ～えいぼうクリニック～



えいぼうクリニックの3つの特徴

- ①大学病院から近い！
- ②大学病院と病診連携！
- ③地域との距離が近い！



①大学病院から近い！

みなさんの生活圏内にある身近な診療所です！

②大学病院と病診連携！

大学病院と連携することで、一人の患者さんで入院・外来・在宅診療が可能です！
林寛之先生はじめ多くの総合診療部医師の指導も受けられます！



③地域とも距離が近い！

行政など地域とも距離が近く、
多職種連携がとりやすい診療所です！



短期間の見学・実習も可能です！
みなさん、お待ちしております！
所長 楠川 加津子

診療所HP:
<https://www.hosp.u-fukui.ac.jp/eiheiji-sinryou/>

診療時間		月	火	水	木	金
9:00～12:00 受付 8:30～11:30	【外来】	●	●	●	●	●
14:00～17:00	【訪問】	●	●	●	●	●

◆訪問診療は予約制
◆休診：土曜日・日曜日・祝日・年末年始

※在宅医療の緊急時には、24時間365日対応します
※夜間・休日を問わず状況に応じて往診します

TEL 0776-61-7500

FAX 0776-61-7501

MAIL eibou-clinic@orion.ocn.ne.jp





独立行政法人 地域医療機能推進機構

JCHO 福井勝山総合病院

住所：〒911-8558

福井県勝山市長山町2丁目6-21

電話：0779-88-0350

メール：main@fukui.jcho.go.jp

ホーム：http://fukui.jcho.go.jp/



平成26年4月より、独立行政法人 地域医療機能推進機構（JCHO）へ移行し、病院名は「福井社会保険病院」から「JCHO福井勝山総合病院」に変わりました。地域住民の方々の多様なニーズに応え、急性期医療から回復期リハビリ、在宅医療・介護まで切れ目のないサービスを提供し、地域住民の方々が安心して暮らせる地域づくりに貢献しています。

◇ 概要

独立行政法人地域医療機能推進機構（JCHO：ジェイコー）福井勝山総合病院は、福井県の北東部に位置し、南東は大野市、南西は吉田郡に、北は石川県に隣接し、福井大学医学部附属病院から30分のところにあります。周囲は大小の山々に囲まれ、その中心を県下最大の九頭竜川が流れ、自然に恵まれた静かな環境の地域で、福井県の奥越地域（人口約5万人）で唯一の公的総合病院であります。

また、当院は二次救急指定病院で、年間を通じ救急車の応需率90%以上・災害拠点病院・第2種感染症指定医療機関・新型コロナウイルス感染症重点医療機関・地域リハビリテーション広域支援センター・原子力発電所の労働災害時の診療契約病院・一次脳卒中センター・地域で唯一生活習慣病健診が総合的に実施できる病院です。

病院事業（急性期158床・回復期41床の計199床・19診療科、透析センター・18床）を中心に健康管理センター・介護老人保健施設（100床）・訪問看護ステーション・居宅介護支援センター等を併設し、疾病予防・急性期医療から回復期、更に介護・在宅医療まで切れ目のない医療・介護サービスを提供することにより、医療・保健・福祉を融合させた総合医療施設としての役割を果たしていますので、地域医療・地域包括ケアの要として、地域からの信頼と期待が寄せられています。

◇ 病院の沿革

昭和21年4月	勝山町立竜東病院 → 健康保険勝山病院として発足
昭和33年9月	社会保険・勝山病院（社団法人 全国社会保険協会連合会運営）
平成11年4月	福井社会保険病院に名称変更（現在地に新築移転）
平成26年4月	独立行政法人・地域医療機能推進機構 JCHO福井勝山総合病院

◇ 教育施設認定

日本内科学会教育関連施設
日本消化器内視鏡学会指導施設、日本消化管学会胃腸科指導施設
日本消化器病学会認定施設、日本肝臓学会関連施設
日本外科学会外科専門医制度関連施設
日本整形外科学会認定医制度研修施設
日本脳神経外科学会専門医指定訓練施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院（麻酔科標榜研修施設）
日本ハートクリニック学会専門医指定研修施設
臨床研修協力病院（福井大学）

◇ 診療科目

内科（総合内科）・消化器内科・循環器内科・脳神経内科・呼吸器内科・腎臓内科・漢方内科・小児科・外科・脳神経外科・整形外科・眼科・泌尿器科・皮膚科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・産婦人科・リハビリテーション科

◇ 許可病床数 199床

（一般急性期病棟：158床、回復期リハビリテーション病棟：41床）

◇ 病院の理念

地域に根ざし、地域から愛される病院

「親切」「信頼」「進歩」

<基本方針>

- ・真心と笑顔で接します。（Heart&Smile）
- ・良質で安心な医療・介護を提供します
- ・地域医療・地域包括ケアを推進します
- ・救急医療・回復期医療を充実させます
- ・ニーズに沿った環境をつくります
- ・知識と技術の向上をめざし、自己研鑽に努めます

◇ 研修内容

地域医療研修

高齢化社会が進む現代、高齢患者さんにとってどのような医療が必要であるかを考え、奥越地域内の公的病院として最先端の医療のみでなく地域に根付いた医療の一貫として訪問診療を行っています。訪問診療では在宅において、外来では見られない家族との関わりの中で、その患者さんが1人の人間として人間らしく最後まで幸せに過ごすために何ができるかを考えさせられ、医師として改めて自分を見直すことのできる場でもあります。

また、予防医学として生活習慣病予防健診を行っており、最近外来ではあまり行われなくなった胃透視のフィルム読影の訓練も十分に行なえます。健診は受けるだけでなく、次のステップにすすむことが大切で、一見健康に見える人に対して疾患の怖さをどのように伝えていくべきかを考えながら、今後の長い人生の中の道しるべを引いてあげることが出来ます。

遠隔地症例検討システムも運用しており、専門性を求めるだけでなく全般的に広い知識も修得でき、患者さんを疾患としてではなく1人の人間として診察することは専門分野に進む前に必ず必要であり、これらのことを研修する場として当院は最適と思います。

外来診療表

診療科		月	火	水	木	金
内科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
外科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
整形外科	午前	○	○	○	○	○
	午後					
小児科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
産婦人科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○
耳鼻咽喉科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○	○			○
泌尿器科	午前	○	○	○	○	○
	午後					
眼科	午前	○		○		○
	午後					
脳神経外科	午前	○	○	○	○	○
	午後		○		○	
皮膚科	午前	○	○	○	○	○
	午後	○		○	○	○
麻酔科	午前	○		○		○
	午後					
放射線科	午前					
	午後					

大滝病院の研修概要



1. 基本理念

私たちは、地域に貢献する事を基本理念とし、命の尊さ・こころの豊かさ・向学の心を提唱する

2. 病院の概要

大滝病院は福井市の西部に位置し、昭和 37 年 6 月に開院以来、地域の方々の“かかりつけ医”として親しまれ、現在、「大滝グループ」の中核病院としての機能を持ち、保健・医療・福祉の連携を踏まえたサービスで地域の方々にお応えしています。

令和 4 年 12 月より一般病床を急性期機能から回復期機能へ転換し、回復期機能に特化した病院となります。リハビリテーションを行い在宅復帰を支援し、地域包括ケアシステムの役割を担っています。

院長 大瀧 憲夫

住所 〒910-0029 福井市日光 1-2-1

電話 0776-23-3215

FAX 0776-26-6023

e-mail otaki-hp@otaki-hp.or.jp

URL <https://www.otaki-hp.or.jp>

3. 沿革

- 昭和37年6月大滝内科医院開設
- 昭和51年7月大滝病院に組織変更 病床数62床
- 昭和56年9月救急指定
- 平成10年8月病床数85床へ増床
- 平成12年4月病床数102床へ増床
- 平成15年6月大滝病院新築移転
- 平成17年7月電子カルテ導入

- 平成21年4月 P A C S 導入
- 平成18年3月 大滝病院病児保育園開設
- 平成18年9月 病床数110床に増床
- 平成20年10月 回復期リハビリテーション病棟開設
- 平成28年12月 地域包括ケア病棟開設
- 平成30年12月 訪問診療部門を大滝東クリニックより移管
- 平成31年4月 眼科開設
- 令和 4年4月 小児科を大滝東クリニックへ移設
- 令和 4年12月 病床数132床へ増床

4. 病床数 1 3 2 床（令和4年12月以降）
一般病床 4 3 床、療養病床 8 9 床

5. 標榜科目
内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、リハビリテーション科、神経内科

6. 診療時間
午前 8 時～午後 1 2 時
午後 2 時～午後 6 時（土曜日午後休診）

7. 専門医等
消化器内視鏡専門医 消化器病専門医
泌尿器科指導医 泌尿器科専門医 肝臓病専門医
救急専門医 整形外科専門医 総合内科専門医 循環器専門医
脳神経外科専門医

8. 関連施設

医療

福井リハビリテーション病院、大滝東クリニック

福祉

福井ケアセンター、グループホームけんとく、グループホームしみず、
ケアハウス日光、のぞみ保育園、大滝病院病児病後児保育園

保健

ふくい総合健康プラザ

在宅支援

仁愛訪問看護センター、しみずケアサポート、
仁愛訪問介護事業所、24時間サポートセンター仁愛、
アットホーム仁愛、仁愛居宅介護支援事業所、
川西地域包括支援センター、居宅介護支援事業所

9. 研修概要

医療、看護、介護、福祉、検診（保健）など個人個人の様々な希望に沿って、
第一線の現場での研修を体験出来ます。

例）・外来（内科、外科等）の見学及び問診・診察等への参加

- ・ 消化器検査（GIS, TCFなど）見学
- ・ 画像カンファレンス
- ・ リハビリテーションの実際
- ・ 医療連携（院内、院外）の実際
- ・ 訪問診療、訪問看護への同行
- ・ 検診、産業医の仕事内容
- ・ 老人保健施設やグループホーム等施設、デイケアの見学
- ・ フィードバック研修 etc.

10. 研修上の注意点

- 1) 医療に従事するものとしての常識ある服装、髪型、言葉遣い、態度で臨んで下さい。
- 2) 敷地内は禁煙です。
- 3) 個人情報の取り扱いには注意してください。

11. 集合場所

実習初日は、8時までに1階受付に集合してください。事務担当がご案内します。

2日目以降は、担当指導医の指示に従ってください。

12. 提出物

念書、個人情報に関する誓約書

→提出先 事務室

プレアンケート、ポストアンケート、毎日（毎週）の記録、他

→提出先 担当指導医

13. コピー室

1 階事務室内

14. 食 事

院内に売店あり。近辺には飲食店ありますが各自でご用意下さい。

15. 駐車場

あり

16. 宿泊施設

無し





所在地 〒918-8537

福井県福井市下六条町1字6番1

TEL 0776-41-3377 (代表)

FAX 0776-41-3372

URL <http://www.koseikaigroup.jp/hospital/>

管理者 院長 服部 昌和

開設 昭和58年4月1日



「患者さま主体の医療」を実践していくための病院づくりに励んでいます。
病気のことは患者様に教えてもらいます。治療のことは私たちが示します。

標榜科目：内科、消化器・一般外科、整形外科、婦人科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、精神科、放射線科、
心臓血管外科、循環器内科、消化器内科、神経内科、リハビリテーション科、麻酔科、形成外科、
脳神経外科、呼吸器内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、腎臓内科、眼科

専門医療センター：循環器センター、消化器病センター、血管透析センター、ストレスケアセンター

専門外来：肝臓外来、手術相談外来、睡眠外来、糖尿病外来、思春期外来、アブレーション外来、PCI 外来
ホルター外来、冷え症・漢方外来

看護形態：急性期一般入院料 6、精神病棟入院基本料 15 対 1、回復期リハビリテーション病棟入院料 3
地域包括ケア病棟入院料 1

病床数：一般病床 158 床(うち回復期リハビリテーション病床 33、地域包括ケア病棟 41)、精神病床 41 床

関連施設：健康増進センター、総合福祉医療サービスセンター

教育認定施設等

日本内科学会認定医制度教育関連施設	マンモグラフィー検診施設
日本循環器学会循環器専門医研修施設	日本整形外科学会専門医制度による研修施設
日本消化器病学会認定施設	日本人間ドック学会指定病院
日本消化器内視鏡学会指導施設	THPの労働者健康維持増進サービス機関
日本外科学会外科専門医制度修練施設	日本糖尿病学会認定教育施設
日本消化器外科学会専門医制度指定関連施設	卒後臨床研修協力施設(厚労省)
日本がん治療認定医機構認定研修施設	日本消化器がん検診学会認定指導施設
日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設、NST 専門療法士認定教育施設	
日本栄養療法推進協議会NST稼働施設	

専門医、指導医等

日本内科学会総合内科専門医、指導医	日本外科学会専門医、指導医
日本循環器学会専門医	日本消化器外科学会専門医、指導医、消化器がん外科治療認定医
日本肝臓学会認定肝臓専門医	日本消化器病学会専門医、指導医
日本糖尿病学会専門医、研修指導医	日本消化器内視鏡学会専門医、指導医
日本呼吸器学会呼吸器専門医	日本消化器がん検診学会指導医
日本血液学会専門医、指導医	日本産科婦人科学会専門医
日本集中治療医学会専門医	インフェクションコントロールドクター
日本超音波医学会認定超音波専門医、指導医	日本がん治療認定医機構暫定教育医
日本医学放射線学会放射線診断専門医	日本麻酔科学会専門医
日本内分泌学会内分泌代謝科専門医、指導医	日本救急医学会専門医
日本プライマリ・ケア連合学会指導医	日本リウマチ学会専門医
日本精神神経学会精神科専門医、専門医制度指導医	日本静脈経腸栄養学会認定医
精神保健指定医(厚労省)	日本人間ドック学会専門医、人間ドック健診指導医、認定施設指導医
日本睡眠学会睡眠医療認定医	福井県臨床研修指導医
日本腎臓学会専門医、指導医	
日本整形外科学会専門医、スポーツ医、リウマチ医、脊椎脊髄病医、運動器リハビリテーション医	
日本総合病院精神医学会認定一般病院連携精神医学専門医、指導医	

研修

◆循環器センター研修募集中（初期・後期）

【指導医】 副院長（循環器） 加藤浩

司
当院ではアブレーションによる不整脈治療と心血管のインターベンション（P C I）に力を入れております。特にCARTO system=3D electroanatomical mappingを使用したアブレーションは心房細動を始め、現在県内トップクラスの実績を上げています。心臓3D-CTの画像をナビゲーションシステムに取り組み、左房肺静脈電氣的隔離術を施行しています。持続性心房細動の発生源(dispersion area)に対しての高周波焼灼も行い、さらに良好な治療成績を達成しています。

見て覚えるだけではありません

初期研修中の方にも、週に数例は心臓カテーテル関連の検査や経食道心エコーに入ってもらい、段階的に慣れてもらうようにしています。

心エコー中心のカンファレンス

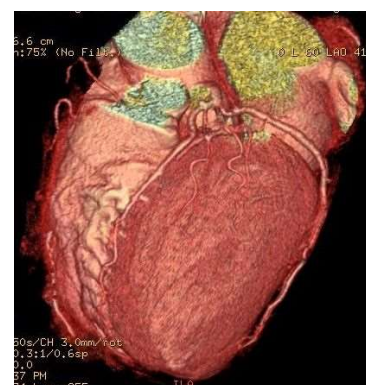
心エコーを中心とした基本的な心臓の血行動態、正常解剖、病的所見の把握について、カンファレンスを実施します。3D-CTによる冠動脈も参考に心カテ→P C Iへと繋げています。

内科の基盤を大事にしています

当院の循環器科は超専門的な特化とレベルアップを目指しておりますが、同時に内科としての基盤も大事にしています。内科と合同のオンライン抄読会、画像カンファレンスを実施しており、内科全般にかかわりつつ、循環器の専門的な知識・技術の習得ができる環境といえます。



■最新のCARTO3によるアブレーション



■冠動脈3D-CT

◆消化器病センター研修募集中（初期・後

期）【指導医】 副院長（消化器・一般外科） 浅田康行 消化器内科部長 道鎮

正規

消化器病センターは、消化器内科・肝臓内科・消化器外科・放射線科の各専門医が一体となり、患者病状に応じて最善の治療を提供することを理念としております。

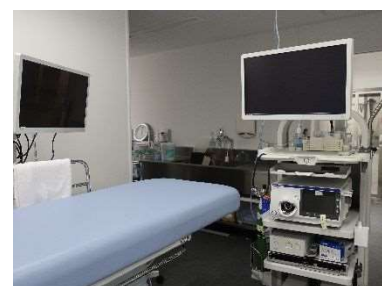
消化器系疾患検査・内視鏡治療

当センターの検査では、上部消化管内視鏡（経口・経鼻）、十二指腸内視鏡、下部消化管内視鏡、超音波内視鏡、腹部血管造影などを行っています。内視鏡治療については内視鏡的粘膜切除術はもとより、粘膜に留まる病変に関しては積極的に内視鏡的治療（内視鏡的粘膜下層・剥離術）を行っています。また肝疾患には肝生検を行い、ウイルス肝炎には抗ウイルス療法、胆道疾患には内視鏡的乳頭括約筋切開術や内視鏡的逆行性胆道ドレナージ術、胆道ステント治療も施行しています。

消化器外科手術

消化器内科、放射線科とカンファレンスを行い、内視鏡・画像・病理診断を深め、病期に応じた手術治療を行なっています。胃、大腸、胆、膵などの消化器外科の手術を主に行っていますが、痔核、ヘルニアなどの一般外科、内シャントや静脈瘤などの血管外科も行なっております。また胃、大腸、胆のうなどに積極的に腹腔鏡手術を行い低侵襲の治療を提供しています。手術を支える様々な麻酔を学ぶこともできます。

一般外科、消化器外科に必要な検査、読影力、手術手技を幅広く学んでいただけたと考えております。



■内視鏡室内



■手術室内

私たちは地域というフィールドで“住み慣れた場所で、自分らしく生きて行く”患者さんや家族、そして地域の方々の暮らしを在宅医療という立場から支えています。2011年に福井市にクリニックを開設し、現在、医師14名(内 非常勤11名)、歯科医師(非常勤)、看護師、社会福祉士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、臨床心理士、臨床宗教師、薬剤師、医療事務、医療クラークなど、多職種が所属しています。



多岐にわたる病気を抱え、在宅で療養する患者さんを支えるのが在宅医療の役割です。病気の種類や重症度、社会的背景に関わらず、また内科、小児科、外科、皮膚科、精神科など全ての分野で対応しています。

- ・ がんの在宅緩和ケア
- ・ 小児在宅医療
- ・ 褥瘡、潰瘍の在宅での治療
- ・ 心不全、呼吸器疾患の在宅管理
- ・ 認知症、精神疾患
- ・ パーキンソン病、ALSなどの特定疾患
- ・ 経鼻経管栄養
- ・ 在宅酸素療法
- ・ 糖尿病、高血圧、高脂血症、リウマチなどの慢性疾患



現在、患者数は約380人、年間で約100件の看取りにも関わっています。

研修では、病院から地域に帰った患者さんの暮らしを目の当たりにしながら、病院とは違う生活ベースの視点で医療の在り方を考えます。特に以下の点について、重点的に学ぶことができます。

- 1) 癌患者・非癌患者への緩和医療を通した終末期～臨死期の対応
- 2) 在宅における急性疾患への対応やトリアージ、入退院調整
- 3) 疾患についてだけでなく病い体験・家族への対応を通して、コミュニケーションスキルの向上
- 4) 医療・介護の充実した地域づくり・クリニックの経営品質の改善、新規プロジェクトの企画～運営への参加
- 5) サービス付高齢者住宅や施設での診療より、施設スタッフとの協働やスタッフ教育、管理指導などの方法
- 6) 現時点の症状や状態だけでなく、患者さんがどんな人生を送ってきたのかという過去から将来の夢や家族プラン、地域の未来まで時間軸で考えられる複眼的思考
- 7) 退院前カンファレンスやサービス担当者会議など、地域における多職種連携を実体験
- 8) 日々の訪問診療を通して、全人的ケアについて考える

<研修の流れ>

研修1 週目 目標設定、指導医の訪問診療に同行

研修2 週目 先週の振り返り、指導医の訪問診療に同行

研修3 週目 指導医から引き継ぎを経て、自身での訪問診療を開始

研修4 週目 先週の振り返り、訪問診療の継続、最終日に研修ポート

フォリオ発表

※日々のフィードバックのほか、毎週金曜に週の振り返りを実施

※複数月の選択の場合は、往診対応、夜間対応などの指導あり



<研修指導医> 宮武 寛知（在宅医療専門医）、田畑未央、中井智子

<1日の流れ>

8:45～9:30 カンファレンス

- 全体ミーティングにて前日の申し送りを確認
- 必要の応じて多職種で今後の対応についてディスカッション

9:30～17:00 訪問診療

- 約10 件の訪問診療を実施
- 緊急時は往診対応を実施
- ほぼ全ての訪問は診療車で移動し、クラークと2人1組で診療にあたる（クラークはカルテの入力や診療医の補助のほか、診療に関するマネジメント全般を担当）
- iPad にてカルテの入力を行い、現場で情報の確認や他医師との共有が可能



17:00～17:30 夜間 引き継ぎ

- カルテ入力の確認
- 夜間の緊急往診などに向けて必要事項申し送り



<お問い合わせ>

オレンジホームケアクリニック

〒910-0018 福井市田原 1 丁目 2-20

TEL: 0776-21-3333 MAIL: info@orangedclinic.jp

HP: <https://www.orangedclinic.jp>



【研修施設：国民健康保険 池田町診療所】

1. 一般目標

総合診療の基本診療技能を獲得すること。

いかなる領域別専門医を目指すにしても、必要不可欠な基本技能である。専門的でありながら包括的に診療を行い、適切に病診連携・多職種との連携をもって医療提供を行うことは、患者および家族、ひいては社会全体の健康向上に寄与しうるからである。

このような基本診療技能獲得のため、総合診療専門医の専門研修カリキュラムの基本理念獲得目標にのっとり、地域に根差した診療所での診療研修を行う。

2. 行動目標

- 1) 目の前の患者の訴えを聞く。そのニーズを医師として適切に拾い上げ（問診・診察・検査）、患者教育を含めて診療提供（治療）・ケア提供（療養）につなぐことができること。
- 2) 適切な診療提供・ケア提供のための、医療者間・他職種間の連携が適切にできること。
- 3) 基本的な医療機器や人材などの安全管理運用ができ、スタッフとの協働、教育的配慮、自己研鑽を行い、自身を含めた所属スタッフのチーム力を最大限に発揮させること。

3. 経験目標（経験が求められる疾患、検査・処置）

- 1) 疾患：外来受診する患者のすべての疾患（たとえ確定診断に至らなくても対応・処置ができる。緊急性の評価を含めて必要な相談・紹介ができる。）

内科一般、小児初期診療、高齢者医療療養、外傷、皮膚疾患、整形疾患、悪性疾患慢性療養期、在宅療養管理・看取り、禁煙外来、など。

- 2) 検査・処置

超音波検査（腹部・表在・他）、単純X線検査（実施の判断および撮影・読影）、心電図検査・ホルター心電図検査、認知症初期検査、オーディオメトリーによる聴力評価、ほか。

事業所健診・特定健診などの実施。予防接種の補助・実施。学校健診の補助・実施。小外科（軽度外傷の創処置・縫合・骨折対応、褥瘡処置など）。など。

4. 学習方略

患者の問診・診察・検査、処置・処方、経過確認を繰り返し行い、個人における外来継続診療を経験する。

在宅患者の訪問診療や往診、訪問看護を経験し、地域における継続診療を経験する。

保健師の保健事業の取り組み等に参画し、多方面からのアプローチの中の医療の役割を認識する。さらに相互の働きを高める役割を担う。

診療所に対応すべき緊急処置・対応の院内研修（院内 ACLS の確）を行う。

5. ひとこと

池田町診療所は、他職種との連携がすでに良好であり、謙虚に前向きに、地域医療研修を行うのにふさわしい場であると考えている。



広瀬病院

<http://hirosebyouin.com/>



福井大学病院卒後臨床研修 地域医療研修について



広瀬病院モバイルサイト

<http://www.hirosebyouin.com/mobile>

医療法人 広瀬病院

〒916-0025 福井県鯖江市旭町1-2-8

TEL : 0778-51-3030

FAX : 0778-51-5978

E-mail : hbp@p2442.nsk.ne.jp

JR鯖江駅より徒歩3分

福井鉄道福武線西鯖江駅より徒歩10分

北陸自動車道鯖江ICより車で5分

0階
病室
(一般病棟・地域包括ケア病床)
5階
病室
(療養病棟)
リハビリテーション室
(言語療法・作業療法)
3・4階
病室
(療養病棟)

2階
透析患者様は1階の受付を通り、
直接透析センターで透析治療を
受けられます。
1階
外来患者様が迷うことの無い様に
中央に待合室を配置しています。
地下1階 栄養部



病院長：広瀬 真紀

1. 外科系、内科系を希望されている先生方で日常地域医療を見ておきたい先生にはお役にたてると思います。
2. 診療科目や施設の概要はホームページでご覧下さい。
3. 先生の実力に合わせた内容で指導していきます。
4. 適時レクチャーをいれて指導します。

具体的指導内容

外科

一般外傷処置 ヘルニア手術等(小手術)

乳腺外来(マンモグラフィ読影 乳腺エコー検査) 褥創管理

循環器科

循環器薬剤の使い方 心不全 高血圧ガイドライン

内科

消化器内視鏡検査 腹部エコー検査 老人医療

CVカテーテル・ダブル ルーメン挿入 出張健診

腎臓内科

透析穿刺 輸液と電解質管理の考え方

泌尿器科

外来とシャント手術

皮膚科

外来と褥創回診

在宅医療、往診治療および療養病棟・老健施設見学も含みます。

研修する内容を一言で言うと一般病院の毎日の診療です

当直 日直業務は原則ありません。

整形外科や消化器科など希望の研修があれば相談ください。

責任医師 広瀬 慧

越前町国民健康保険 織田病院

〒916-0215

福井県丹生郡越前町織田 106-44-1

TEL 0778-36-1000 FAX 0778-36-1001

管理者 津向伸哉 病院長（研修責任者） 根本朋幸

基本理念

私達は公平公正な地域包括医療を実践し、全ての地域住民の、心身共に健康な生活と、地域の発展を支援します。



織田病院の概要

当院は越前町が開設した公立病院で、救急告示病院の指定を受けており、診療時間以外でも常時救急患者の受入態勢を取っています。町の人口約 20,000 人のうち、主な診療圏域の人口は 16,000 人です。

越前町の地場産業は農業と漁業が中心で、越前水仙や越前がに、越前焼が有名で、観光産業に従事する人も少なくありません。町内の各地に日帰り温泉も多く、なかでも越前海岸に面した露天風呂「漁火」は人気です。また、病院にほど近い「劔神社」は戦国武将織田信長公が氏神と崇めた由緒ある神社です。

平成 24 年 4 月から指定管理制度により公益社団法人地域医療振興協会の指定管理で運営され、訪問看護の事業も開始されました。平成 27 年 4 月に在宅療養支援病院の届出を行い、平成 27 年 6 月からは児童デイサービス事業も展開し、医療、介護に加え、福祉事業にも力を入れています。令和 2 年 5 月より新型コロナウイルス感染症重点医療機関に指定されています。



露天風呂「漁火」



劔神社

研修内容

研修期間中は急性期、慢性期患者の外来や救急患者の初期診療の他、手術研修を行います。病棟では一般急性期と地域包括ケアの病床を有するため、急性期から回復期の患者の診療に携わることが可能で、訪問診療により在宅医療研修も実践し、急性期から在宅医療までの全人的な診療を体験できます。日本内科学会特別連携施設、日本消化器病学会特別関連施設、日本病院総合診療医学会認定施設、日本整形外科専門医研修施設

福利厚生

研修期間中は病院が研修医用の賃貸アパートを確保しており、時間をかけて通勤の心配はいりません。24 時間利用可能なフィットネスジムが併設されています。海岸が近いこともあり海釣りを中心とした同好会の活動があります。

診療時間

外来診療：月曜から金曜日：8：45～16：30 土曜日：11：30 まで 救急外来：24 時間診療体制

医療スタッフ

医師 常勤 6 名（非常勤 38 名） 看護師 60 名 薬剤師 3 名 診療放射線技師 4 名
臨床検査技師 3 名 理学療法士 16 名 作業療法士 6 名 言語聴覚士 2 名
管理栄養士 4 名 社会福祉士 1 名 ケアマネージャー 2 名 保育士 5 名 児童指導員 4 名
介護福祉士 6 名 看護助手 11 名 診療情報管理士 1 名 事務 18 名

事業の内容

- ①許可病床数 一般病床 55 床
- ②標榜診療科 内科、消化器内科、総合診療科、外科、整形外科、小児科、眼科、脳神経外科、リハビリテーション科、肛門外科、放射線科、耳鼻咽喉科、泌尿器科
- ③事業内容 入院、外来、訪問診療、予防接種、人間ドック、各種検診、訪問看護、居宅介護支援事業、放課後等デイサービス、病児・病後児保育、各種学生実習受入
- ④患者数 R3 年度 入院：16,445 人（1 日平均 45.1 人）
外来：50,700 人（1 日平均 173.0 人）



地域医療研修施設

社会医療法人 財団 中村病院

理事長 野口 善之

〒915-0068 福井県越前市天王町 4 番 28 号

Tel.0778-22-0618 <http://www.nakamura-hp.or.jp/>



当院は、急性期医療を目指しながら、生活習慣病健診等も実施し、CTやMRI等の電子化を開始し、高度の治療技術で地域と有機的な連携を求めています。

外科では、専門医により各種の癌などに内視鏡下による手術等が実施でき、結石破砕装置等の設備も有し、マンモグラフィー等で乳癌等の精密検査も実施できます。脳神経外科では、専門医により脳出血等の治療・手術・急性期脳梗塞に対する血管内治療も実施でき、高気圧酸素治療機器も備えています。整形外科では、専門医により人工関節置換術等が実施でき、リハビリテーションの施設基準に適合しています。内科では、ペースメーカー移植術・大動脈バルーンパンピング法・経皮的冠動脈形成術等が実施でき、人工透析等の設備も有します。また、高齢化社会に対応する為、専門医によるもの忘れ外来や入院患者に対し認知症ケアラウンドも行っております。

以上のように各科優れた診療機能・設備等を備え、将来、総合的な医療を目指す皆様には、より良い研修施設としてお勧めします。

地域の急性期病院として今後も貢献して行くために、令和2年4月1日社会医療法人の認可も受けました。

臨床研修指導医

日本外科学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本脳卒中学会認定脳卒中専門医
日本脳神経外科学会専門医/指導医 日本脳神経血管内治療学会専門医
日本神経学会専門医・指導医 日本認知症学会認定医・指導医 日本内科学会総合内科専門医
整形外科専門医 リウマチ認定医 日本泌尿器科学会指導医・専門医 性機能学会専門医
循環器専門医 日本心血管インターベンション学会認定指導医・専門医
小児科専門医・指導医 放射線診断専門医 検診マンモグラフィ読影認定医
心臓血管外科学会専門医・修練指導医 日本脈管学会認定脈管専門医
日本麻酔科学会専門医 日本ペインクリニック学会専門医 日本東洋医学会専門医
日本内視鏡外科学会技術認定医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医
※各科学会指導医・専門医の資格を持つ常勤医師が指導します。

施設の概要

急性期一般入院料 4、1 日平均入院患者数：1 4 6 人、平均在院日数：1 8 日

1 日平均外来患者数：3 6 1 人、医師数：2 5 名、看護師、准看護師数：1 3 8 名

標榜診療科

内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科（胃腸科）、循環器内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、美容外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、泌尿器科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、耳鼻咽喉科

機器設備等

EVIS LUCERA ELITE 内視鏡システム一式、ホウルミウムヤグレーザーシステム ODYSSEY30
X線TV装置2台、血管造影X線診断装置2台、CT装置320列 Aquilion ONE 1台、MRI 1台
結石破碎装置1台、高気圧酸素治療装置1台、超音波診断装置9台、透析装置
泌尿器科用カメラシステム、ポータブルX線撮影装置2台、外科用イメージ2台
眼科用ヤグレーザー1台、眼科用光干渉断層計1台、白内障手術装置、赤外観察カメラシステム1台
デジタル乳房X線撮影装置システム、X線骨密度測定装置、TUR i s レゼクトスコープ
筋電計、脳波計、手術用顕微鏡2台、集中治療室、手術室：3室

教育施設認定等

日本脳神経外科学会専門医制度研修施設、日本脳卒中学会一次脳卒中センター認定
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設拠点教育施設、
日本整形外科学会専門医研修施設、日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設(関連施設)
日本外科学会外科専門医制度修練施設(関連施設)、日本消化器内視鏡学会指導連携施設、
マンモグラフィ検診施設、日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設認定
日本神経学会専門医准教育施設、日本認知症学会教育施設
日本循環器学会循環器研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修関連施設
浅大腿動脈ステントグラフト実施施設、Rotablator 認定施設

一般目標

日常診療で遭遇する疾患や、救急患者への対応、往診などを研修していただき、地域医療への理解を深めるとともに、プライマリーケアが出来る基本的診療能力や、院内スタッフとの良好な人間関係を構築できる能力を身につけていただく。

行動目標

当院は、地域の基幹病院として、外傷・脳卒中・虚血性心疾患等の救急患者を多く引き受けており、救急患者の診療・治療の技術を修得していただきます。

入院患者も多様で、認知症や高齢化社会に対応できるよう BPSD 対応病室や地域包括病棟で在宅復帰に向けて、地域連携の研修もして頂きます。

臨床研修週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土
AM	総合診療科外来(隔週) 在宅神経難病往診 癌リハビリ回診 (隔週)	整形外科病棟回診	医局カンファ 画像診断講義 エコー検査	総合診療科外来	総合診療科外来	
PM	救急対応 内視鏡検査 褥瘡回診	手術 循環器検査	産業医同行 NST回診 認知症ケアラウンド	泌尿器科検査 透析回診	手術 循環器検査 外科往診(隔週)	

- 週間スケジュールは基本的なもので、希望により透析業務や、外科手術への参加も可能で、本人の希望があれば出来るだけ優先します。
- 入院患者の副主治医として、主治医の指導のもとに数人の患者診療を行い、レポート提出をして頂きます。
- NST回診、院内各種カンファレンスには積極的に参加していただき、各科医師より各科の疾患や、治療に関するレクチャーも受けていただきます。
- 研究会、講演会に参加していただきます。

研修医控室

場所：医局内

研修医担当

研修医からの書類提出先：循環器内科副部長（兼八）

研修医からの連絡：総務部（田中） 電話 0778-22-0618

図書室・コピー室

研修医が利用できる図書室有り、医局内にコピー機有り（無料）

その他

食事：職員食堂有り（無料）、

駐車場：職員駐車場有り（無料）

宿泊施設：有り（無料）

TV・冷蔵庫・掃除機・机・電子レンジ・コインランドリー・エアコン完備

パイプベッド有（布団あり）

※事前に申し込みが必要です。（総務部：田中まで）

医療法人池慶会 池端病院

法人概略

当法人は、昭和34年に池端医院として開業し、昭和49年には30床の池端病院として越前市の郊外、国道365号線沿いに開設した王子保地区（人口5,750人）唯一の診療施設です。

小さな病院ですが、幅広い患者層が特徴で、乳幼児から学童、超高齢者、救急・外傷、消化器外科から生活習慣病、高齢者慢性疾患までカバーしています。

また、その治療は外科的処置、内科的治療、看護、介護、リハビリテーション等を患者様のご要望に応じ外来、入院、通所、訪問など各種の医療・ケアサービスで対応しています。

院 是

- ・ 私たちは、信頼され愛される病院を目指します。
- ・ 私たちは、地域に根差した「かかりつけ病院」を目指します。
- ・ 私たちは、常に考え学び、向上心を持ち続ける病院を目指します。

診療概要

標榜診療科目	基本診療施設基準	特掲診療施設基準	検査機器
外科 内科 胃腸科 皮膚科 小児科 整形外科 リハビリテーション科	医療療養病床（19床） 地域包括ケア病床（11床） 療養病棟入院基本料 療養病棟療養環境加算 重症皮膚潰瘍管理加算 栄養管理実施加算 入院時食事療養（Ⅰ） 褥瘡患者管理加算	小児外来診療料 ニコチン依存管理料 地域連携診療計画退院時指導料 在宅時医学総合管理料 脳血管疾患リハ（Ⅱ） 運動器リハ（Ⅱ）呼吸器リ（Ⅰ） がんのリハビリテーション ペースメーカー移植手術及び交換術	CT（16列） X-P 内視鏡 ABI-PWV PGS エコー ECG 骨密度

スタッフ（法人全体）

医師：常勤医師2名 非常勤医師8名
薬剤師：1名、薬剤助手：1名
診療放射線技師1名
看護師：22名、准看護師：10名
介護福祉士：22名、介護士：5名
リハビリ療法士：PT8名、OT8、ST2名
管理栄養士：4名、栄養士2名
ケアマネジャー：専任9名、兼任2名
（有資格者23名）
事務員：13名

* 全職員数：131名（非常勤含む）



医 療

当法人は、「地域支援型慢期医療拠点」として、地域のニーズ、時代のニーズに対応する包括的医療を考えたサービス提供を目指しています。健康日本21構想を基に、糖尿病、メタボリックシンドローム、禁煙、認知症などを対象とし予防から治療とフォローアップを実施します。また、在宅療養支援病院の機能を高めるために地域包括ケア病床

（11床）転換しました。今後はさらに急性期医療機関や訪問サービス、入所施設などの様々な地域サービスとの連携強化を目標としています。

今後は、特に在宅における終末期医療の提供体制を強化し、地域包括ケアシステムの構築に寄与して参ります。

介 護

医療機能と同等に、常に高齢者ケアのあり方を探り続けています。複雑多様化する介護ニーズが高まる中で、高齢者一人ひとりに対応した介護計画（ケアプラン）に基づいたサービス提供を目標としています。出来る限り自宅での生活が続けられるように訪問系、通所系の各種介護保険事業を展開しています。

また、地域包括ケアシステムの実現にむけて自立支援、重度化防止を意識し、越前市や南越前町から委託を受けて介護予防総合事業や認知症初期集中支援チームの事業にも注力しています。

診療時間

◎ 2 診 ○ 1 診

	月	火	水	木	金	土
9:00～ 13:00	◎	◎	◎	◎	◎	◎
14:30～ 18:30	○	○	○	○	○	
訪問診療	午後	午前 午後	午前 午後	午前	午前 午後	午前

平均外来患者数:60人/日
入院患者数
療養病床:19床
地域包括ケア病床:11床
平均入院日数:療養180日
:地域ケア40日
訪問診療件数:70件/月
訪問看護件数:320件/月

研修内容

当法人では、医療、保健、介護の枠組みを越えた地域包括ケアを研修できます。

医療) 外来:プライマリケア、禁煙、DM、SAS

入院:慢性期医療、地域連携、リハビリ

訪問:在宅医療(HOT、PEGなど)

終末期看取り

保健) 特定健診、学校健診、企業健診、高齢者

介護予防、各種予防接種

介護) 介護保険分野全般の研修ができます。

・要介護認定主治医意見書の作成

・多職種によるケアカンファレンス

・各種居宅サービス(右表)

【指導医から一言！】

池端病院では、多職種連携を通じた幅広い地域包括ケアを提供しています。訪問診療・看護、リハビリ、緩和ケア、慢性期医療等、楽しく活発に実践しています。

親切、丁寧な指導を心がけますので、是非とも池端病院での研修にお越しください。

居宅サービス事業所

高齢者の医療と介護を担う

「総合在宅ケアセンターしくら」

- ・訪問診療
- ・しくら訪問看護ステーション
- ・池端病院訪問リハビリテーションセンター
- ・しくらケアプランステーション
- ・しくら地域包括支援センター
- ・デイケアしくら(通所リハビリ)
- ・しくらデイ明日花(通所介護)

医療法人池慶会 池端病院

理事長・院長 池端幸彦

〒915-0861 越前市今宿町8-1

Tel 0778(23)0150

Fax 0778(24)2363

HP <http://www.ikebata.jp>

E-Mail info@ikebata.jp

今庄診療所（いましん）で医師の原点を学ぼう



はぎの まさき
萩野 正樹
所長

楽しく『外来で診察』ができる
暮らしに溶け込んだ『訪問診療』を実践できる
『身近な入院管理』ができる

『家庭医療・総合診療』を経験・実践できる
『地域との関係性、まちづくり』が学べる



脳神経内科 みやたに のぶゆき
認知症専門医 宮谷 信之

『認知症』が学べる



家庭医 しんの やすみち
地域社会総合診療医 新野 保路

南越前町国民健康保険

今庄診療所 の紹介

- 南越前町は福井県中央に位置し、JR、北陸自動車道が通るアクセス良好の交通の要所です。
- 人口約10,000人の山海里の自然が豊かな街です。
（山：今庄 海：河野 里：南条）
- 今庄地区は人口約3,500人で、ほとんどの住民と顔なじみの関係になることができます。
- 医師3名、看護師15名、医療事務2名、診療放射線技師1名で、外来約60名/日、入院＋在宅患者を診療しています。
- 24時間対応の在宅支援診療所です。
- 在宅生活の維持のため、19床の病床を活用する有床診療所です。



➡「家庭医療・総合診療の実践」
「有床診療所での地域医療の現場」を体感することが出来ます！

○当診療所における家庭医療・総合診療とは？

患者さんの心身の健康面、家族関係、就労・経済状況などを多角的に診て、その人が望む暮らしを送れるように、あらゆる専門医や協力者と連携しその解決にあたります。



長い年月、今庄に根ざして医療を提供してきた医療機関として、「その人に」、「家庭に」、「地域に」密着し、健康問題にいろんな角度からアプローチし、その人らしく生きることをお手伝いしています。

○有床診療所での地域医療の現場とは？

- 急性期を乗り越えた患者さんの生活のための支援をおこなっています。
- 急性疾患・慢性疾患の方の外来、予防接種などのプライマリ・ケア、訪問診療・往診、病棟診療、住民検診、学校医業務などを行っています。
- 行政、地域包括支援センター、社会福祉協議会、老人保健施設・特別養護老人施設など各種施設、消防署や認定こども園等の他専門職との連携も必要な現場です。

是非、一緒に楽しく現場で学びましょう！

研修しやすい環境が整っています！

- どの診療科志望の学生・初期研修医の方でもOKです。
- 総合診療専門医プログラムに準拠した幅広い研修を受けられます。
- 指導担当医は家庭医療指導医で地域に根ざした知識を伝えてくれます。
- 子供から高齢者まで幅広い患者層が受診されます。
- 診療科にとられない医療ニーズがあります。
- テレビ会議システムで大学病院との勉強会に参加可能です。
- 毎日の振り返りでやりっ放しの体験でなく、フィードバックを受けられます。
- エコー、CT検査、内視鏡検査など、検査が充実しています。
- 医学生・初期研修医・後期研修医の受け入れ実績多数あります。



南越前町国民健康保険 今庄診療所

〒919-0131福井県南条郡南越前町今庄84-24-1

Tel : 0778-45-0030

Fax : 0778-45-1913

Mail : shinryo-i@town.minamiechizen.lg.jp

□ 若狭高浜病院 × 和田診療所 での合同実習

若狭高浜病院では、主に一般外来実習を、和田診療所では在宅医療実習を担当し、「入院管理」から「退院前調整」、「退院後の生活／医療との関わり方」まで、シームレスな連携を実感いただける合同実習を提供しています。

2022年度は、福井大学や福井県立病院をはじめ、他のJCHOグループ病院や関西電力病院、京都大学医学部附属病院、福井赤十字病院等から、地域医療枠での研修医を受け入れました。



□ 病院・診療所の概要

JCHO若狭高浜病院



高浜町国民健康保険 和田診療所



所在地	福井県大飯郡高浜町宮崎87-14-2	高浜町国民健康保険 和田診療所	福井県大飯郡高浜町和田117-68
TEL/FAX	0770-72-0880／0770-72-1240		0770-72-6136／0770-72-6138
H P	https://takahama.jcho.go.jp/		https://www.wadashin.com/
E-M a i l	main@takahama.jcho.go.jp		wcc@town.takahama.fukui.jp
病床数	90床		—
診療科	内科・外科・整形外科・婦人科 耳鼻いんこう科・泌尿器科・麻酔科		内科・外科・小児科
併設施設	附属介護老人保健施設・附属訪問看護ステーション・病児病後児保育		高浜町保健福祉課・子育て世代包括支援センター「kurumu」・社会福祉協議会和田事務所
実習内容	【一般外来研修】 ・主治医として入院患者様を担当いただきます。上級医とチームで患者様を把握し、常に相談できる体制を構築しています。 ・毎日の全員回診やカンファレンスで教育機会を多く設けています。 ・救急対応や外来対応も、上級医と共に最前線で担当してもらいます。 ・地域出前講座、健診などの地域に密着した業務も研修可能です。	【在宅医療研修】 ・訪問診療に同行していただき、患者さんの日常を実際に体感していただきます。 ・患者中心の医療、多職種連携の実際を研修していただき、実践できます。 ・同行する医学生、看護学生にバイタル測定、身体診察を指導していただく機会もあります。	
	若狭高浜病院と和田診療所で定期的開催する「合同カンファレンス」にも参加いただきます。		

□ 質問 ①

- ・「高齢者の身体診察」って教わったことありますか？
- ・「Red Flagのない腰痛」ってどのようにアプローチしますか？



JCHO若狭高浜病院は老年医学に特化した病院です。

入院患者の平均年齢は80歳を超えており、まさに高齢者診療の学びの宝庫！今まで系統立てて学んだことのなかった「高齢者の身体診察」を、情熱溢れて滴る指導医(家庭医専門医)が伝授します！

【key word】 顎落ち・short trachea・胸鎖乳突筋肥厚・斜角筋・心雑音(駆出性と逆流性の聞き分け)・IV音・指輪っかテスト・関節の触診法(肘・手・膝・足)・手指肢位模倣(きつねテスト)

“腰痛” — それは人類が二足歩行を始めた頃からの悩み。

「Red Flag」が無ければ安心する。そんな診療で終わりにしていませんか？本当に患者さんの悩みを解決できていますか？

若狭高浜病院の暑苦しいほど情熱的な整形外科に強い総合診療医があなたの腰痛診療を進歩させます！高齢者の整形疾患に確実に強くなる毎日を一緒に過ごしませんか！？

【key word】 椎間板ヘルニアで腰痛？・坐骨神経痛の原因追求・筋膜性疼痛症候群に筋膜リリース・五十肩で終わらせない肩関節の診察・失敗の少ない膝関節穿刺法・非整形外科医のための骨粗鬆症診療・でいとうふー(偽痛風)を確実に診断したい

□ 質問 ②

- ・「高齢者」が退院するときに考えることをいくつか言えますか？
- ・「高齢者」に起きやすい問題をいくつか言えますか？



和田診療所の在宅医療実習では、「高齢者の入院管理」から「再入院を減らす／自宅でhappyに過ごすための退院前調整」、「退院後の生活／医療との関わり方」まで、まさにシームレスな関わりを実感できます！徐々に進行するフレイルの中で、本人と家族が“老い”を受け入れていくプロセスを共に考えます！1ヶ月の研修で「癒し人」としての医師の深みが増すことでしょう！

【key word】 急性期治療が終わった後どうしたらいいかわからない・「すぐ再入院してきそう」と悩んだことがある・“ご飯が食べられないIC”が苦痛だ、認知症の患者の意思確認ってムズくない？・「あなた達が診るしかないです、家族ですから」と言ったものの自分の心に何か引っかかっている

この**【key word】**にビビッと来たら、高浜での研修を楽しく過ごせること間違いなし！最高の学びを、最高の笑顔で！最高に濃厚な天下一品の1ヶ月を過ごしませんか！？

Come on!! Join us!!

□ 研修担当者あいさつ



若狭高浜病院 臨床研修センター長（整形外科） 海透 優太

当院は、大飯郡（約2万人）で唯一の入院施設を持つ病院であり、地域に密着した「かかりつけ病院」として信頼を得られる医療を提供しています。内科のみならず、外科・整形外科の領域をカバーする必要があり、総合的な診断治療能力が求められます。専門医がいない環境ならではの悩みもありますが、それゆえに幅広い疾患に自分で責任を持って対応する能力が養われます。

すべての医師に必要なプライマリケアのマネジメント能力を身に付けるには、若狭高浜病院以上の環境は日本中どこを探してもありません！

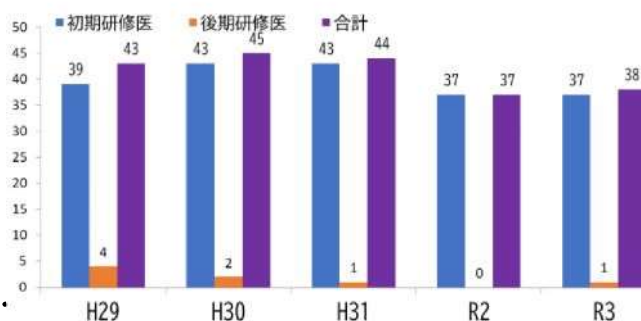
我々と一緒に、最高の地域医療研修をしましょう！



高浜町国民健康保険 和田診療所 所長 細川 知江子

わだしんでは、患者さんの日常を応援する医療を提供しており、普段みなさんが病棟で患者さんの非日常を日常に戻す医療と大きく異なるところがあります。専門医になる方も、患者さんの日常を知ることが、これからもきっと役立つと思います。高浜町に来て、高浜町の方々と仲良くなり、ぜひ、高浜町を好きになってもらえる研修になると思います。みなさんと高浜町でお会いできるのを楽しみにしております♪

【参考資料】近年の研修医受入れ状況



□ 研修期間中の環境

- 勤務時間：原則8時30分～17時15分
- 宿 舎：1 K、病院から約50m
- 駐 車 場：有り（無料）
- 食 事：お弁当（500円程度）注文可。
近くにスーパー有り。
- 宿舎設備：冷蔵庫・洗濯機・テレビ・エアコン・
電子レンジ・布団等完備
*宿舎でのインターネット利用は、各自でモバイルWi-Fiルーターをご用意ください。
*医局ではWi-Fiをご利用いただけます。

□ 研修医の声

- 病棟、訪問診療含めて患者の疾患に触れるだけでなく、生活に触れる、人生観に触れるなど学びたかった+想定以上の研修ができました。また、総合診療医、家庭医のロールモデルとして大変勉強になり、地域包括ケア病棟の運用としても理想的だと思いました。
- 人生の終末期を本人の希望やご家族の納得がいくように迎えられることの難しさや、医療者側の望むこと、患者の希望が理解していることで起きる葛藤を感じることができた。
- 毎日の振り返りが印象に残っています。自分の考えを言語化することがすごく苦手なのですが指導医の先生方が上手にサポートしてくださったおかげで、反省点や次どうすべきかを明確にすることができました。
- 高齢者を疾患ではなく機能に着目して診ていくのは大変な驚きであり、今後につなげていきたいと思います。

おおい町国民健康保険名田庄診療所

おおい町国民健康保険名田庄診療所 中村伸一

【おおい町名田庄地区と周山街道】

おおい町名田庄地区は、福井県の最南端で、南と西は京都府、東は滋賀県に接しており、96%が山林の山村地域です。

平成 18 年、名田庄村と大飯町が合併しておおい町となりました。平成の大合併によって福井県には村はなくなったので、名田庄村は県内で最後の村でした。

人口は、名田庄村発足当時の昭和 30 年の 4,855 人を頂点として減少傾向にあり、令和 4 年 4 月 1 日現在、2,259 人、高齢化率は 41.2%です。

京都と若狭を結ぶルートのひとつである周山街道（国道 162 号線）が名田庄地区を通っており、かつては魚介類や塩等が京の都に運ばれました。

名田庄周辺の山でとれる猪の肉は、赤身と白身のバランスが最高で、味噌仕立てにして野菜と一緒に煮込む名物のぼたん鍋は好評です。栄養、風味、粘り共に最高の品質を誇る名田庄自然薯は名田庄地区の気候にあった特産品です。



【名田庄と陰陽道】

陰陽道で有名な安倍晴明の子孫である土御門家が、1467 年、応仁の乱の戦火を逃れて名田庄に移り住み、有宣、有春、有脩の親子三代 130 年余りにわたって陰陽道および天文・暦・易の三道を司っていました。

名田庄が“星の里”と呼ばれる所以です。おおい町暦会館には、暦に関する貴重な資料が多数展示されており、現在もここで暦を編纂、発行しています。

【保健・医療・福祉総合施設 あっとほ～むいきいき館】

平成 3 年より旧名田庄村では、保健・医療・福祉のスタッフが連携し、いまでいう地域包括ケアをすすめてきました。

平成 11 年、その集大成として、診療所と総合保健施設が一体化した保健・医

療・福祉総合施設“あっとほ〜むいきいき館”を開設しました。診療所の他に役場の保健福祉職員、社会福祉協議会の職員も常駐しています。

当施設では、診療所で提供する医療サービスの他に、健診、各種がん健診、乳幼児健診、健康づくりなどの保健事業、デイサービス、ホームヘルプ、ケアマネジメントなどの福祉・介護サービスも提供しています。

また、文化施設的作用も果たしており、俳句同好会、囲碁クラブなど住民の自主的な活動の場でもあり、ボランティア活動の拠点にもなっています。

さらには、開設当初から、館内清掃を知的障害者授産施設に委託し、日常的に障害者が社会参加しています。



【名田庄診療所の設備と診療内容】

無床診療所で、外来診療、訪問診療、訪問看護を行なっています。

1日の平均患者数は43人で、訪問診療・往診は月平均41件です。

X線撮影システム、X線TVシステム、超音波診断装置、上部および下部消化管内視鏡、ホルター心電図解析機能付き心電図などの医療機器を備えています。

外来では、内科疾患だけでなく、外傷、整形疾患、皮膚疾患など多彩な傷害や疾病を診ており、エコーガイド下筋膜リリース、関節注射、ブロック注射、小外科手術、内視鏡治療（大腸ポリープに対するEMR）、ときには癌外来化学療法も行なっています。

在宅では、緩和ケアや看取りを含むケアを多職種の協働で行なっています。

【名田庄診療所での医学教育（臨床研修を中心に）】

当施設は保健・医療・福祉がコンパクトにまとまっているため、短期間で地域包括医療・ケアを理解してもらえるのが特徴です。「健康づくりから予防、治療、リハビリ、在宅ケア、在宅看取りまで、人々のライフサイクルにかかわっていることを実感した」という感想を彼らの多くから聞きます。

平成 12 年度から自治医科大学 5 年生の地域医療実習の施設として、毎年、医学生が実習しています。現在は自治医大 1 年生、4 年生、6 年生の実習の施設になっています。嶺南医療振興財団奨学生、福井大学、順天堂大学、聖マリアンナ医科大学の医学生・研修医も春休み、夏休み等を利用して見学に来ます。

平成 17 年度からは新医師臨床研修制度のもと、福井県内 4 病院と済生会横浜市東部病院の協力施設として地域医療研修にかかわっています。平成 22 年度からの 7 年間は、福井県救急医・家庭医キャリアアップコースの後期研修医を受け入れました。

臨床研修の地域医療研修では、診療所の外来および訪問診療が中心ですが、希望者にはデイサービス、ホームヘルプ、ケアマネジメント、訪問看護、保健事業、介護認定審査会にも参加してもらいます。臨床研修医には毎日その日に気づいたことを電子メールで送ってもらい、指導医がアドバイスを返信しています。メールは同時に研修病院の研修指導担当医、事務担当者、当診療所スタッフにも配信します。研修医にとっての日々の成長記録にもなっています。

名田庄診療所での研修医教育

★ 初期研修医教育 (4週間コース)	平成17年度	3名	*福井県済生会病院
	平成18年度	8名	
後期研修医 1名6ヶ月	平成19年度	10名	*福井県立病院
	平成20年度	7名	
	平成21年度	11名	*公立小浜病院
	平成22年度	16名	
	平成23年度	17名	*福井大学医学部 附属病院
	平成24年度	9名	
	平成25年度	16名	*済生会横浜市 東部病院
	平成26年度	13名	
	平成27年度	14名	*東京医療センター
	平成28年度	17名	
	平成29年度	19名	
	平成30年度	15名	
	令和元年度	17名	
	令和 2年度	11名	

これまで 25 年以上かけて築いてきた当地域での地域包括ケアをスタッフと力を合わせて継続し、今後も医師臨床研修には以下の目的を持ってかかわってきたいと考えています。

- ① 地域包括ケアや総合診療を実践する若手医師を育てる
- ② 地域包括ケアや総合診療を理解する急性期病院勤務の専門医を育てる
- ③ 国民に対して（高度でなくとも）良質な医療を提供できる医師を育てる

【研修施設：福井県赤十字血液センター】

1. 一般目標

無償の献血者に接する献血現場での採血業務を通じて、献血の推進・献血者 募集・採血・検査・製剤・供給の流れ等血液事業の仕組みと現状、また血液製剤の安全性を確保するための対策及び適正使用について理解する。

安全な輸血医療を行える医師となるために血液センターの役割を知り血液事業への理解を深める。

2. 行動目標

- 1) 献血者の健診を通じて、輸血用血液が善意の献血にて賄われていることを理解する。
- 2) 献血者の安全を守るために必要な問診技術、採血副作用の対処法を身につける。
- 3) 血液センターの働きを知り、輸血副作用防止、感染防止等の努力を理解し、その限界も知ることにより臨床の場での輸血医療の安全性を向上させる。

3. 経験目標

- 1) 血液センターの見学・オリエンテーションにより血液事業全体の流れと血液センターの業務を知る。
- 2) 安全な血液確保と、安全な献血のために採血業務のうち問診業務を行う。
- 3) 採血副作用（血管迷走神経反射、神経損傷、内出血等）に適切に対応する。
- 4) 移動採血車に同乗し、地域・職域の移動採血の実務を体験する。

4. 指導原則・方法

1) オリエンテーション（血液センター）

① 講義

献血推進部門 採血部門 問診・検診部門 学術・情報部門 製剤・供給部門
（血液センターに集合することが適切でない場合は、リモートにて講義のみ行う場合がある。）

② 見学 採血部門 供給部門

③ 研修 献血体験または献血者健診業務

2) 血液センター「献血ホールいぶき」（固定施設）での実務

① 研修 血液センターでの献血者の健診

② 指導者 所長（指導医）、医務課医師（上級医）

医務係長もしくは採血責任者

3) 移動採血車での実務

- ① 研修 移動採血車での献血者の健診
- ② 指導者 所長（指導医）、医務課医師（上級医）
医務係長もしくは採血責任者

5. スケジュール

- 1) 第1日目：福井県赤十字血液センター内にてオリエンテーション（年度始め）
（血液センターに集合することが適切でない場合は、リモートにて講義のみ行う場合がある。）
- 2) 第2日目：血液センター（固定施設）での実務（献血者の健診）
- 3) 第3～4日目：移動採血車での実務（献血者の健診）
※採血計画によりスケジュールの変更あり

6. 責任者からのメッセージ

自分たちが臨床の場で使う血液製剤がどのような形で献血され、供給されるのかを知り、その尊さと共に排除できないリスクを知ってほしい。

*付記 安全対策

血液センター・移動採血車共に研修医が健診業務を担当する場合、献血者の問診等に異常があるときは、必要に応じて指導医または上級医に電話もしくは直接指示を受けること。緊急時には救急隊、近隣医療機関との連携のもとに適切な対応をとることとする。

医療法人南溟会 宮上病院

宮上病院は鹿児島本土と沖縄本島の間にある離島、徳之島にある医療機関です。徳之島から長寿世界一が2名でたり、徳之島各町の出生率が全国10位以内に入る等長寿と子宝の島と言われております。人口は22千人程で闘牛が有名な島です。2021年に世界自然遺産登録されました。夏はダイビング、冬はホエールウォッチングと自然と触れ合うレジャーが人気です。

島には病院が2つあり徳之島徳洲会病院と当院の2施設で救急の受入れを行っております。

当院は病棟42床（内結核病床1）、外来が1日100名程あり救急から在宅医療まで幅広く診ております。ハブ咬傷といった島ならではの症例もあります。



鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7268

- ・ 宿舎あり
- ・ 家賃・光熱費ともに負担なし。
- ・ 病院近隣にいくつかアパートを契約しており、そのいずれかを使用させていただきます。
いずれもWi-Fi設置済みです。
- ・ 職員食も朝昼晩3食提供可能（無料）です。